

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

大幸薬品

4574 東証 1 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2019 年 12 月 27 日 (金)

執筆：客員アナリスト

角田秀夫

FISCO Ltd. Analyst **Hideo Kakuta**



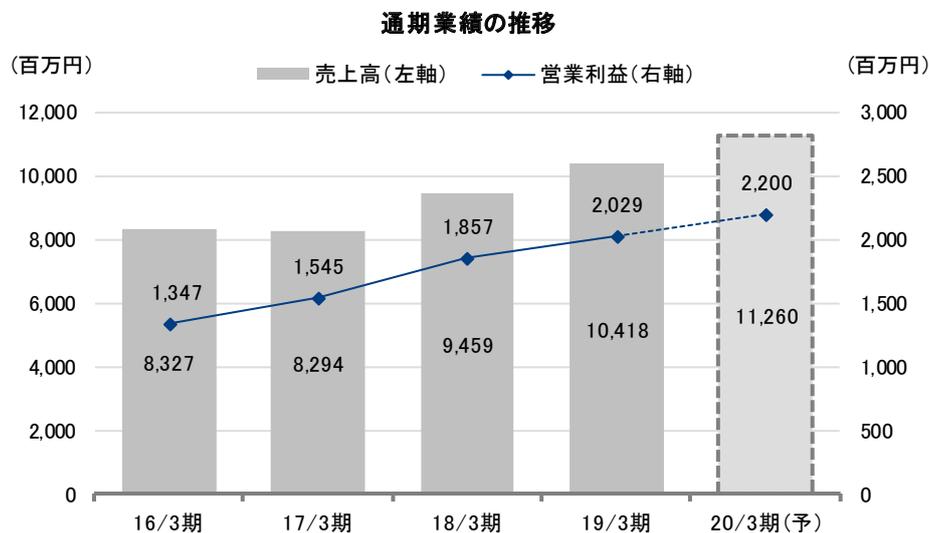
FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

業績動向

2020年3月期第2四半期は増収及び大幅増益。 医薬品事業は堅調、 感染管理事業はマーケティング施策の勢い継続し業績向上

大幸薬品<4574>は、「正露丸」「セイロガン糖衣A」を中心とする医薬品事業と、ウイルス除去・除菌・消臭製品「クレベリン」シリーズを中心とした感染管理事業を展開している。



出所：決算短信よりフィスコ作成

2020年3月期第2四半期は、売上高が4,385百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益が980百万円（同52.3%増）、経常利益が882百万円（同46.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が641百万円（同43.2%増）と売上高、各利益ともに前年同期を大幅に上回った。

売上高に関しては、医薬品事業が堅調、感染管理事業は大幅に伸ばした。国内医薬品事業の売上高は2,168百万円（前年同期比5.9%増）。特に主力のセイロガン糖衣Aが成長をけん引した。海外医薬品事業の売上高は537百万円（同18.5%増）。香港向けを中心に増加し、全体としておおむね計画どおりの進捗である。感染管理事業の売上高は、1,675百万円（同27.3%増）と大幅増。2018年にクレベリン製品のデザインリニューアル、店頭強化、新TVCMなど一貫したマーケティング施策で成功を収め、その勢いが継続している。一般用製品の好調に連動して業務用製品もオフィス用通販向けを中心に順調である。海外向けの感染管理製品も台湾市場向けを中心に増加した。

業績動向

売上総利益は増収影響により増加。販管費に関しては、医薬品事業で広告宣伝（TVCM 放映等）を強化し、感染管理事業で販売促進費及び欠品回避のための在庫費用（保管料）を増加させた。金額ベースで増やしたが、増収効果等により販管費率は低下した。結果として、営業利益は前年同期比 52.3% 増と大幅な増益となった。セグメント利益では医薬品事業が前年同期並み、感染管理事業が大幅に収益を改善した。

2020年3月期第2四半期連結サマリー

(単位：百万円)

	19/3 期 2Q		20/3 期 2Q		前年同期比	変化要因
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	3,825	100.0%	4,385	100.0%	14.6%	国内医薬品事業は、セイロガン糖衣 A を中心に堅調 海外医薬品事業は、香港市場向けを中心に前年同期を上回る 感染管理事業は、国内一般用、国内業務用ともに前年同期を上回って推移。海外も台湾市場向け中心に増加
内) 国内医薬品事業	2,046	-	2,168	-	5.9%	
内) 海外医薬品事業	453	-	537	-	18.5%	
内) 感染管理事業	1,315	-	1,675	-	27.3%	
売上総利益	2,638	69.0%	3,112	71.0%	18.0%	増収影響等により総利益額増加
販管費	1,993	52.1%	2,131	48.6%	6.9%	マーケティング強化に伴い販売費が増加。増収効果等により販管費率は低下。
営業利益	644	16.8%	980	22.4%	52.3%	すべての事業が増収。販管費増を吸収して増益
経常利益	603	15.8%	882	20.1%	46.2%	為替差益 32 百万円減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	448	11.7%	641	14.6%	43.2%	

出所：決算短信、決算説明会資料よりフィスコ作成

■ 今後の見通し

**2020年3月期通期は、3年連続増収増益を予想。
 医薬品事業は進捗順調。
 感染管理事業はインフル流行入り早く足元好調**

2020年3月期通期の業績予想は、売上高で前期比 8.1% 増の 11,260 百万円、営業利益で同 8.4% 増の 2,200 百万円、経常利益で同 3.4% 増の 1,950 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で同 0.3% 増の 1,420 百万円と堅調な増収増益を予想。上期業績が好調だったが、期初予想を据え置いた。

今後の見通し

医薬品事業の売上高は前期から安定成長を予想する（前期比 2.7% 増）。上期を終わった段階の通期売上計画に対する進捗率は 47.5%（前年同期は 45.1%）であり、順調である。国内医薬品事業では、マーケティング施策を強化し、正露丸商品群全体としての新しいメッセージ「全下痢対応」の更なる浸透を図るため、積極的な広告宣伝を行う。「全下痢対応」の意味としては、「ウイルス・菌」による下痢のときは「正常な腸の働きを止める」下痢止めは飲んでではならないとされるが、同社の正露丸は一般的な下痢止めと異なり、「正常な腸の動きを止めない」ため、「ウイルス・菌」による下痢でも飲むことができる、というもの。海外医薬品事業は、2020年3月期も中国・台湾を中心に成長を予想。第3四半期には中国向けの出荷が予定されている。

感染管理事業は、例年並みの季節性インフルエンザの流行を前提にしつつも、感染管理市場の継続的な成長を背景として既存製品の販売増加及び新製品の販売開始の効果を加味し2ケタ成長を見込む（前期比 14.4% 増）。上期を終わった段階の通期売上計画に対する進捗率は 30.1%（前年同期は 27.1%）であり、本格シーズンの前ではあるが順調に推移する。クレベリンの売上高を左右するのが、インフルエンザの流行の度合いやその報道の多寡である。今期は、45週（11月4日からの週）から流行シーズン入りが発表され、昨年の49週よりも4週早かった。足元の店頭販売も好調である（11月末時点）。例年ピークとなる1月下旬から2月上旬にかけて、流行がどう推移するかが注目される。今期はクレベ & アンドのブランドでの日常除菌製品分野の新商品3アイテムが発売され、2019年9月には出荷がスタート。海外に関しては、台湾市場及び中国市場でのチャネルが確定し伸びが期待できる。

2020年3月期もブランド強化などのマーケティング施策等のために販売費及び一般管理費を588百万円増やすが、増収効果及び返品の減少による売上総利益率向上で吸収し増益を見込む。

業績の推移

（単位：百万円）

	売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS (円)	配当 (円)
12/3期	6,683	44.7%	515	-	558	-	482	-	37.23	15.00
13/3期	7,443	11.4%	1,120	117.7%	1,211	116.8%	1,037	115.2%	81.31	15.00
14/3期	9,947	33.6%	2,590	131.1%	2,683	121.5%	1,747	68.4%	135.94	25.00
15/3期	8,978	-9.7%	2,559	-1.2%	2,776	3.5%	1,770	1.3%	138.93	25.00
16/3期	8,327	-7.3%	1,347	-47.3%	1,307	-52.9%	840	-52.6%	65.23	15.00
17/3期	8,294	-0.4%	1,545	14.7%	1,407	7.7%	1,049	24.9%	76.45	20.00
18/3期	9,459	14.0%	1,857	20.2%	1,567	11.4%	1,094	4.3%	77.38	25.00
19/3期	10,418	10.1%	2,029	9.3%	1,885	20.2%	1,415	29.3%	98.99	35.00
20/3期(予)	11,260	8.1%	2,200	8.4%	1,950	3.4%	1,420	0.3%	99.00	30.00

出所：決算短信よりフィスコ作成

■ トピックス

独自のマーケティングにより「クレベリン」のラインナップ充実。 日常除菌の新ブランド「クレベ&アンド」3製品販売始まる

1. 独自のマーケティングにより「クレベリン」のラインナップがさらに充実

近年の「クレベリン」ブランドの成長の要因としてマーケティング戦略がある。世界的デザイナーである佐藤オキ氏が率いる nendo と複数年の包括的パートナー契約を結び、マーケティング手法も刷新した。消費者向けのクレベリン製品では、ターゲットを「妊産婦」、「受験生+親」などに設定し、使用シーンも明確にし、様々なタイプの製品ラインナップを展開する方針である。2019年9月に販売開始されたクレベリン製品群の1つである「フックタイプ」は、赤ちゃんの衛生対策として使いやすいようにベビーベッドに掛けて使用できる形状になっている。また、「ペンタイプ」では従来の白色に加えて黒色、ミッキーマウスやプーさんのイラストが描かれた専用カバー付きの商品などが加わった。赤いダルマのデザインが特徴的な「置き型専用ケース ダルマデザイン」は受験生を応援する。「使用者」と「シーン」を明確にするマーケティングにより、クレベリン製品がより身近に、より楽しいものになることを目指している。

クレベリンのラインナップ拡充



クレベリン スティック
フックタイプ



クレベリン スティック
ペンタイプ ブラック



クレベリン 置き型専用ケース
ダルマデザイン

クレベリンの
ラインナップ
がさらに充実



クレベリン x ベアブリック
designed by nendo

BE@RBRICK TM & © 2001-2019
MEDICOM TOY CORPORATION.
All rights reserved.



クレベリン スティック ペンタイプ
ミッキーデザインストラップ

©Disney



クレベリン スティック ペンタイプ
プーさんデザインストラップ

©DISNEY. Based on the "Winnie the Pooh" works
by A.A. Milne and E.H. Shepard.

9/2より発売

出所：決算説明資料より掲載

トピックス

2. 日常除菌の新ブランド「クレベ & アンド」製品の販売始まる

同社は、二酸化塩素製品「クレベリン」から派生させた日常除菌製品のブランド「クレベ & アンド（クレベ アンド）」を立ち上げ、第一弾としてハンドジェル、ハンドスプレー、キッチン用スプレーを2019年9月に発売した。クレベ & アンドというブランド名には1) クレベリンの派生ブランドであること、2) 除菌による安堵（アンド）、3) クレベリン（二酸化塩素製品）と一緒に使ってほしい、という意味が込められている。空間のみならず、手指やキッチンなどの除菌を行う総合的な除菌製品をラインナップすることで、ワンストップショッピングによる消費者の利便性向上を目指す。同社にとっては、季節性の高いクレベリン製品に、通年で需要のあるクレベ & アンドで平準化を図りたい考えだ。小売店向けには、既にクレベリン及びクレベ & アンド統一での専用棚が多数採用されており、出荷も順調に推移している。初期出荷の一部ではあるが、売上高140百万円（2020年3月期第2四半期）が計上された。今後、広告宣伝にも力を入れる予定であり、新ブランドが消費者に受容されるかが今後のカギとなる。

クレベ & アンドの新製品



株主還元

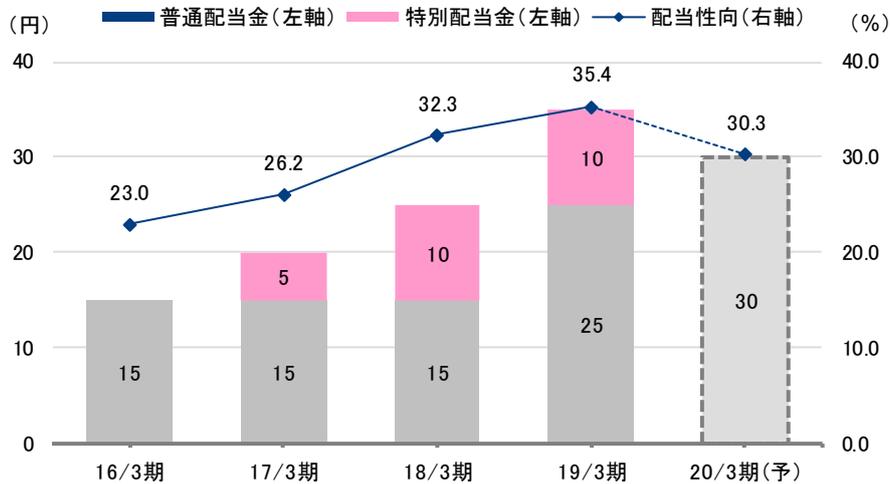
2020年3月期の配当は年30円予想。 感染管理事業が伸びれば特別配当に期待

1. 配当

同社は、堅実な成長性を維持する事業展開と安定的な経営体力維持のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持していくことを基本方針とし、連結業績も反映した配当政策としている。過去3年間（2017年3月期 - 2019年3月期）は3年連続の増配となった。配当性向も4年前（2016年3月期）の23.0%から直近（2019年3月期）の35.4%まで右肩上がりだ。2020年3月期の配当金は年30円（上期10円実施済、下期20円）、配当性向は30.3%を予想する。2020年3月期からは普通配当を25円から30円に増加。これまでどおり感染管理事業が大きく伸びて着地した場合には特別配当も期待できる。

株主還元

1株当たり配当金と配当性向



出所：決算短信よりフィスコ作成

2. 自己株式の買付状況

同社は2019年5月14日、自己株式の取得を発表し、実施してきた。上限は430,000株（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.0%）及び820百万円。取得期間は2019年5月15日－2019年10月31日。結果として10月31日までの累積では、256,600株、539百万円が取得され、上限値に対する進捗率は株数ベースで59.7%、金額ベースで65.8%となった。同社は近年増配及び配当性向の向上を行っており、自己株式の取得を追加することで、さらに株主還元が強化されることになる。

免責事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-11-9

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（情報配信部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp